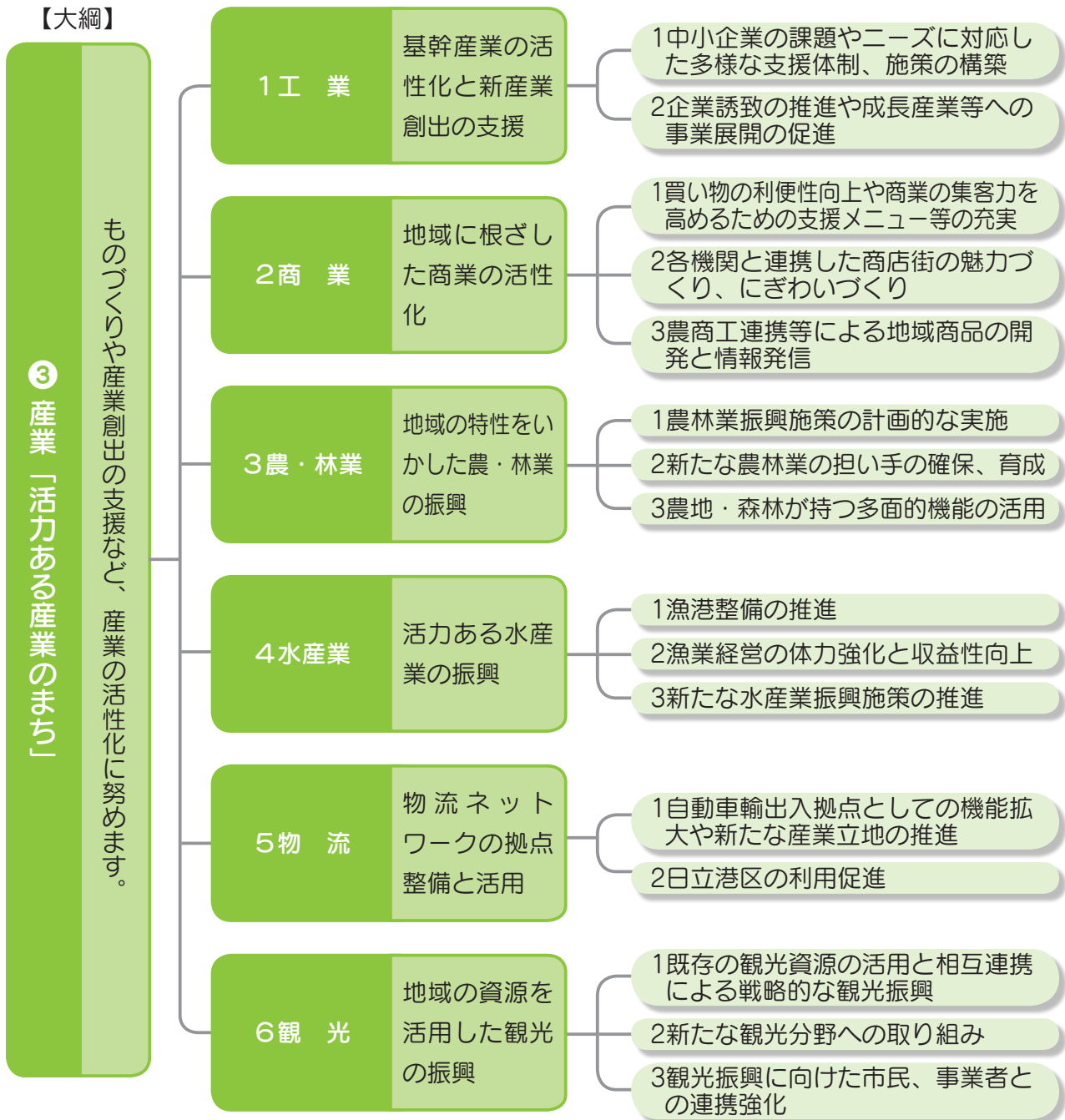


- ③一施策1 工業
- ③一施策2 商業
- ③一施策3 農・林業
- ③一施策4 水産業
- ③一施策5 物流
- ③一施策6 観光

大綱3 産業「活力ある産業のまち」

施策体系図



3-施策1 基幹産業の活性化と新産業創出の支援（工業）

施策の基本方針

ものづくり産業の活力を維持するため、ものづくりを支える人材の育成や中小企業への多様な支援を進めるほか、企業誘致や異業種連携・創業支援を推進します。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①工業に対する評価

現状値

H23
2.4点



目標値

H28
3.0点

②工業の重要度

H23
4.4点

※市の取り組み「工業：働ける場として新たな企業が進出するなど、産業の活性化が進んでいる」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価（1～5点）の平均。

現 状

- 本市は、(株)日立製作所を中核とする「日立グループ企業」と機械金属等の業種を中心とした中小企業により産業集積が形成されており、多くの事業所が操業しています。
- グローバル化や国内*産業の空洞化等、工業を取り巻く環境はかつてないほど大きく変化しており、これらの影響を受け、事業所数や就業機会の減少等が見られており、市民も産業の活性化に高い関心を示しています。
- 市内には、技術や技能を有する市民も多いほか、大学や産業技術専門学院、日立地区産業支援センター等、特徴的な人材育成機関や研究開発機関が立地し、中小企業や創業を支援する環境を有しています。

課 題

- 工業（ものづくり）の活力を維持するためには、業種・業態・地域を越えた異業種連携の推進や、各支援機関等との一層の連携強化による産業振興体制を構築し、中小企業等への多様な支援が必要です。
- 企業誘致や創業支援を推進するとともに、本市が有する人材や資源をいかし、エネルギー、環境、健康、情報通信等の新たな成長産業の創出や特徴ある支援策の構築が必要です。
- 多様な産業の立地を促進するとともに、中小企業等の移転・拡張等のニーズに対応するための産業用地の確保を図る必要があります。

関連計画等

・「日立市工業振興計画」（H20～H24）

【用語の説明】

- * 産業の空洞化：企業が生産・製造などの主な活動拠点を海外に移転することによって国内の生産力が低下すること。国内の生産や設備投資、雇用が減るため、景気や中長期の成長力の下押し要因となる。
- * MCO：マイクロ・クリエイション・オフィスの略。日立地区産業支援センター内の創業支援施設の名称。
- * インキュベーション：事業の創出や創業を支援するサービス・活動のこと。

施策の方向と主な取り組み

③ - 1 - 1 中小企業の課題やニーズに対応した多様な支援体制、施策の構築

めざす姿	目標指標
<p>★我が国のものづくりを支える地域として、多くの中小企業が集積し、企業活動の充実に必要な相談や支援を受けることができます。</p>	<p>製造品出荷額（4人以上事業所）</p> <p>H23：1兆3,970億円 ▶ H28：1兆4,600億円</p> <p>日立地区産業支援センター利用件数</p> <p>H23：1,246件 ▶ H28：1,500件</p>
主な取り組み	
<p>①ニーズに対応した支援体制や施策の構築【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工振興計画を策定し、効果的な施策を推進していきます。 	
<p>②個々の企業に対する支援の充実【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立地区産業支援センターを中心にきめ細かな支援を行っていきます。 	
<p>◎主な事業：商工振興計画策定事業、産業活動支援事業、中小企業支援対策事業、金融支援対策事業</p>	

③ - 1 - 2 企業誘致の推進や成長産業等への事業展開の促進

めざす姿	目標指標
<p>★新たな企業が進出するとともに、成長産業分野等への事業展開により就業機会が創出され、地域産業全体が活気づいています。</p>	<p>創業支援数（*MCO入居者数等）</p> <p>H23：7社 ▶ H28：10社</p> <p>北部工業団地分譲率</p> <p>H23：65% ▶ H28：75%</p>
主な取り組み	
<p>①企業誘致の推進【産業立地推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの将来の活力となる企業の誘致を進めるとともに、未利用地の活用を含めた産業立地用地の確保を進めます。 	
<p>②新規創業等への支援【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な企業、就業機会が生まれる環境づくりを進めます。 	
<p>③新事業展開への支援【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄積された技術力や企業集積、産学官連携等をいかした新事業への展開を支援します。 	
<p>◎主な事業：企業立地等促進事業、工業団地内の未利用地等の再利用促進、マイクロ・クリエーション・オフィス *インキュベーション事業、創業準備パイロット事業、雇用安定対策事業、新製品・新技術開発事業、海外展開支援事業、産学連携による研究開発補助</p>	

3-施策2 地域に根ざした商業の活性化（商業）

施策の基本方針

生活の利便性の向上や、集客力を高めるための支援の充実、*農商工連携による特産品の推進などを進めます。また、地域に根ざした商業の活性化を図る再整備などについて、検討を行います。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①商業に対する評価

現状値

H23
2.6点



目標値

H28
3.0点

②商業の重要度

H23
4.2点

※市の取り組み「商業：商店街や大型店舗など、近くで買い物がしやすい環境が整っている」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価（1～5点）の平均。

現 状

- 小売業は、駅周辺の商店街だけでなく、住宅地に近接する小売店舗も減少しています。
- 専門性等の高い小売店も減少しており、市外の大型商業施設等へ購買力が流出している傾向にあります。
- 市街地では食品スーパーの立地が進み、生活利便性の確保が図られているものの、山側団地等では、将来的に買い物が困難になることが懸念されます。

課 題

- 買い物の利便性向上や商業の集客力を高めるため、適切な支援メニューの充実や検討が必要です。
- 日立駅前や常陸多賀駅前等の商店街の活性化を図るため、各機関が連携して魅力づくり、にぎわいづくりを進める必要があります。
- 本市の地域資源を活用した特産品の開発や*ブランド化を進めることが必要です。

関連計画等

・「日立市商業振興計画」（H20～H24）



商店街のイベント（ひたちカレーまつり）

【用語の説明】

- *農商工連携：商業や工業の事業者と農林漁業者とが協力しながら、相互の経営資源を活用し、新たな商品やサービスを生み出す取り組み。
- *ブランド化：他者との違いや優位性を明確にして、消費者からの信頼と好評価を獲得すること。
- *地域ブランド：地域の産品・観光などから連想される地域のイメージや評価。
- *地域ブランド調査：全国1000市町村と47都道府県の魅力度や認知度など約60項目の評価をブランド総合研究所がアンケート調査したものの。

施策の方向と主な取り組み

③ - 2 - 1 買い物の利便性向上や商業の集客力を高めるための支援メニュー等の充実

めざす姿	目標指標
★駅周辺の商店街に、にぎわいが見られ、各地域で買い物支援体制の充実が進んでいます。	小売業の年間商品販売額 H23 : 1,673億円 ▶ H28 : 1,800億円
主な取り組み	
①商業活性化のための支援メニュー等の充実【商工振興課】 ・商工振興計画を策定し、効果的な施策を推進していくとともに、商業の活性化を図る再整備など新たな方策を検討します。	
②商店街におけるコミュニティ機能の強化【商工振興課】 ・山側団地等のコミュニティ組織と連携した商店街活動を推進します。	
◎主な事業：商工振興計画策定事業、中小企業支援対策事業、地域連携商店街活性化事業	

③ - 2 - 2 各機関と連携した商店街の魅力づくり、にぎわいづくり

めざす姿	目標指標
★各商店街では、市民等と連携した多様なにぎわいづくり事業に取り組んでいます。	商店街で行うイベント件数 H23 : 7回 ▶ H28 : 10回
主な取り組み	
①地域ぐるみの商店街活性化活動の促進【商工振興課】 ・市民や各関係機関が連携した自主的な取り組みを促進します。	
②中心商店街への店舗誘致の促進【商工振興課】 ・空き店舗等を活用した起業や店舗の誘致を進めます。	
◎主な事業：商店街オリジナル商品等開発支援事業、がんばる商店街支援事業、中心商店街企業誘致促進事業	

③ - 2 - 3 農商工連携等による地域商品の開発と情報発信

めざす姿	目標指標
★本市の地域資源を活用した特産品が生まれ、広く知られています。	*地域ブランド調査魅力スコア H23 : 6.4点 ▶ H28 : 10点
主な取り組み	
①*地域ブランドの開発と情報発信【観光物産課】 ・地域資源を活用した商品開発等を支援し、効果的な情報発信をします。	
◎主な事業：地域ブランド創出事業	

3-施策3 地域の特性をいかした農・林業の振興(農・林業)

施策の基本方針

新たな担い手の育成、商品価値の高い新たな作物の育成や就業環境の整備、地場産品をPRする取り組みを進めます。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①農林業に対する評価

現状値

H23
3.4点



目標値

H28
3.5点

②農林業の重要度

H23
4.1点

※市の取り組み「農林業：地元でとれた新鮮で良質な野菜や果物などが手に入りやすい」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価(1～5点)の平均。

現 状

- 本市の農林業は、高齢化、後継者不足等、全国と同様の傾向を示しています。また、*中山間地域が多いのが特徴で、農地だけでなく市域の約6割を占める森林の維持・保全も重要になっています。
- このような中で、農産物の供給に関わる事業に加え、地域交流や国土保全等の多面的な視点に基づく事業を進めています。

関連計画等

- ・「日立市坂下地区の農業振興方策」
- ・「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」

課 題

- 農業振興施策の計画的な実施とともに、新たな農業の担い手の育成や農業就業環境の整備が必要です。
- 中里地区や高原地区での*グリーンツーリズム活動等の交流事業を進めるとともに、農畜産物の品質と価格の安定化、加工品の充実、流通体制の充実等、農業の多面的な活用を図る必要があります。
- 市域の約6割を占める森林の維持・保全を図るため、森林環境の整備や環境学習への活用等を進める必要があります。



十王観光物産センター 鶴喜鶏喜(うきうき)

【用語の説明】

- *中山間地域：平地の周辺部から山間地に至る、まとまった平坦な耕地の少ない地域。
- *グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。

施策の方向と主な取り組み

3-3-1 農林業振興施策の計画的な実施

めざす姿	目標指標
<p>★都市的利用と調和しながら、農山村環境の維持保全や効率的生産を支える農地の集約が進められています。</p>	<p>農地集約面積</p> <p>H23 : 20.1ha ▶ H28 : 25.1ha</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①農村環境整備の推進【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の生産環境の向上と、農業生産を支える集落環境の整備を進めます。 	
<p>②森林の保全と活用【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業の活性化と国土保全に向けた林業の支援を進めます。 	
<p>◎主な事業：県営ふるさと農道緊急整備事業、中山間地域総合整備事業、森林機能緊急回復整備事業</p>	

3-3-2 新たな農林業の担い手の確保、育成

めざす姿	目標指標
<p>★自然と共生した良好な田園環境の中で、後継者の育成や新規就農支援などが進んでいます。</p>	<p>農園ボランティア登録者数</p> <p>H23 : 25人 ▶ H28 : 50人</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①経営安定化の支援【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の効率化、規模拡大等を進めます。 	
<p>②新規就農の促進【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地や森林の保全と活用を図るため、新規就農者の育成やボランティア活動の支援を進めます。 	
<p>◎主な事業：農地流動化推進事業、中里グリーンツーリズム推進事業</p>	

3-3-3 農地・森林が持つ多面的機能の活用

めざす姿	目標指標
<p>★農地や森林の適切な維持が行われ、生産の場としてだけでなく、都市住民等との交流やレクリエーション、環境教育の場としての活用が進められています。</p>	<p>体験交流イベント参加者数</p> <p>H23 : 3,043人 ▶ H28 : 4,000人</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①体験交流機会の充実【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業や農村の魅力を伝えるため、都市住民等との交流を促進します。 	
<p>◎主な事業：たかはら自然体験交流施設運営事業、田舎体験交流支援事業</p>	

3-施策4 活力ある水産業の振興（水産業）

施策の基本方針

新たな担い手の育成、漁場の環境整備や商品価値の高い水産物の開発等による漁業経営の体力強化、地場産品をPRする取り組みを進めます。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①水産業に対する評価

現状値

H23
3.3点



目標値

H28
3.5点

②水産業の重要度

H23
4.0点

※市の取り組み「水産業：新鮮な魚介類を販売する施設があり、水産資源が活用されている」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価（1～5点）の平均。

現 状

- 本市は、太平洋に面しており久慈、会瀬等の漁港・港湾を有し、あわびの漁獲高は県内一となっていますが、近年は水産物全体の漁獲量、漁獲高とも減少傾向にあります。
- このような中で、漁業協同組合の合併に関する協議・検討のほか、あわびの稚貝の放流、漁場環境の整備等、経営体力の強化と水産資源の保全に向けた取り組みを進めています。
- 市内のイベントにおいて地元水産物の普及促進を図るとともに、日立おさかなセンターを中心に新鮮な魚介類を求め、多くの方が訪れています。

課 題

- 気候変動等の新たな課題に対応しつつ、計画的な漁港の整備が必要です。
- 漁業従事者に対する効果的な支援や漁業協同組合の経営基盤の強化を図るため、引き続き漁業協同組合の合併を促進することが必要です。
- 獲るだけの漁業から、付加価値を生み出すことができる産業として確立するために、新たな事業展開を支援することが必要です。
- 厳しい状況下にある漁業経営の改善、より活力ある産業への育成、震災により被害を受けた漁業の早期復興の指針として、水産振興計画を策定することが必要です。

関連計画等

・「茨城県水産業振興計画」(H23～H27)



施策の方向と主な取り組み

③ - 4- 1 漁港整備の推進

めざす姿	目標指標
<p>★震災被害からの復旧が進み、市内の漁港・港湾が漁業生産活動の拠点としてにぎわいを見せています。</p>	<p>水産業施設改修</p> <p>H23：0箇所 ▶ H28：4箇所</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①漁業生産活動施設の整備【農林水産課】</p> <p>・漁港・港湾施設の震災復旧と施設改修を進めます。</p>	
<p>◎主な事業：漁港整備事業</p>	

③ - 4- 2 漁業経営の体力強化と収益性向上

めざす姿	目標指標
<p>★漁業協同組合の経営基盤の強化が進むとともに、漁場や流通・加工体制の整備が進み、付加価値の高い漁業が行われています。</p>	<p>漁業協同組合数</p> <p>H23：3組合 ▶ H28：1～2組合</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①漁業協同組合の組織・経営基盤の強化【農林水産課】</p> <p>・漁業生産の中心組織である漁業協同組合の合併を促進し、組織・経営基盤を強化します。</p>	
<p>②漁業経営の安定と就労環境の整備に向けた支援【農林水産課】</p> <p>・専門家の指導による経営の効率化や担い手の確保・育成を支援し、漁業経営の安定を図ります。</p>	
<p>◎主な事業：漁業協同組合合併促進事業、水産振興対策事業、水産振興計画策定事業</p>	

③ - 4- 3 新たな水産業振興施策の推進

めざす姿	目標指標
<p>★水産振興計画に基づく各種施策が進み、震災被害から復興した水産業が原動力となって、地域の活性化が進んでいます。</p>	<p>水揚高</p> <p>H23：6億6千2百万円 ▶ H28：6億7千万円</p>
<p>主な取り組み</p>	
<p>①水産業の復興・振興に必要な施策の展開【農林水産課】</p> <p>・新たに水産振興計画を策定し、各種振興策を推進していきます。</p>	
<p>②地元水産物の普及促進と地域関連産業の活性化【農林水産課】【観光物産課】</p> <p>・地元水産物の流通・販売及び新たな水産加工品の開発等を支援します。</p>	
<p>◎主な事業：水産振興計画策定事業、栽培漁業推進事業</p>	

3-施策5 物流ネットワークの拠点整備と活用（物流）

施策の基本方針

広域的な物流を促し、産業の持続的な発展に資するため、幹線道路体系の整備と合わせ、物流ネットワークの拠点である「茨城港日立港区」の整備促進と自動車取り扱いを中心とした活用を図ります。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①物流に対する評価

現状値

H23
2.9点



目標値

H28
3.0点

②物流の重要度

H23
4.0点

※市の取り組み「物流：日立港区やその周辺地区が産業の活性化に活用されている」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価（1～5点）の平均。

現 状

- 日立港は、平成20年12月25日に常陸那珂港及び大洗港と統合し、茨城港日立港区として運用されています。
- メルセデス・ベンツ日本(株)の国内唯一の輸入港となっているほか、日産自動車(株)栃木工場の北米東海岸向けの完成自動車の輸出港になる等、自動車取扱拠点港となっており、日立港区の臨海部や後背地への*モータープール整備に取り組んでいます。
- 東京ガス(株)LNG（液化天然ガス）基地を建設する計画が、平成27年度稼働を目標に進められており、港湾機能の一層の強化を目指しています。

課 題

- 自動車取扱拠点の機能拡大や新たな産業立地の推進のためには、計画的な用地等の確保や整備を進めるとともに、LNG基地建設等を円滑に推進する必要があります。
- 日立港区の規模拡大、利用促進を図るためには、沖防波堤の整備促進や第3ふ頭地区の早期事業化が必要です。
- 災害時の海上物流拠点を確保するため、岸壁の耐震化を促進する必要があります。

関連計画等

・「茨城港港湾計画」



茨城港日立港区から輸出される自動車

【用語の説明】

- * モータープール：自動車の一時的保管場所。大型の自動車運搬船の入出港が可能な港湾や臨海部に立地する施設。
- * LNG基地：タンカーなどで輸送されてきたLNG（液化天然ガス）をタンクに備蓄し、その後、都市ガスに気化、加工をした上で、企業や一般家庭などの需要家向けに送出する施設。

施策の方向と主な取り組み

3-5-1 自動車輸出入拠点としての機能拡大や新たな産業立地の推進

めざす姿	目標指標
<p>★自動車輸出入拠点として、港湾機能の強化と関連産業の集積が進むとともに、*LNG基地が稼働し、新たな産業集積が見られています。</p>	<p>完成自動車取扱台数</p> <p>H23: 90,000台 → H28: 150,000台</p>
主な取り組み	
<p>①エネルギー関連港湾としての利用促進【産業立地推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・*LNG基地の立地やエネルギー政策の転換に対応した港湾の拠点機能の強化を進めます。 	
<p>②自動車取扱港湾としての利用促進【産業立地推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北関東地域の完成自動車の輸出入拠点として、第3ふ頭地区の整備を進め、港湾の強化を図ります。 	
<p>③災害時の海上輸送ルートの確保【産業立地推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4ふ頭の耐震強化岸壁の整備を促進します。 	
<p>◎主な事業：*LNG基地の立地推進、第3ふ頭地区整備事業の推進、国・県と連携した整備の促進（沖防波堤など）</p>	

3-5-2 日立港区の利用促進

めざす姿	目標指標
<p>★茨城県とともにポートセールスに取り組み、首都圏の太平洋の玄関口として、取扱貨物量、定期航路の拡充が進んでいます。</p>	<p>取扱貨物量</p> <p>H23: 500万トン → H28: 800万トン</p>
主な取り組み	
<p>①ポートセールスの推進【産業立地推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立港区の利用促進に向け、自動車メーカー等の港湾を利用する企業等へのPRを進めます。 	
<p>◎主な事業：日立港区振興事業（利用促進PR活動、説明会など）</p>	

【コラム】 完成自動車取扱い拡大とLNG基地立地への対応

平成22年4月にメルセデス・ベンツの国内唯一の輸入港となり、5月からは日産自動車の北米東海岸向けの輸出港となり、完成自動車の取扱いが大幅に伸びています。

また、平成27年度中の稼働を目標に第5ふ頭地区に東京ガスのLNG基地建設計画が進められています。これらに対応するため、平成23年12月に日立港区の港湾計画が変更され、第3ふ頭の整備や*LNG基地の立地が位置付けられ、事業化の促進が期待されています。

3-施策6 地域の資源を活用した観光の振興（観光）

施策の基本方針

海、山などの自然、本市のシンボルである「さくら」、かみね動物園、奥日立きららの里などの施設をはじめ、「ものづくり都市」に培われた産業資産などを活用し、積極的に情報発信を行うなど、地域の資源を十分にいかした観光振興の取り組みを進めます。

成果指標（市民ニーズ調査から）

①観光に対する評価

現状値

H23
2.8点



目標値

H28
3.0点

②観光の重要度

H23
3.8点

※市の取り組み「観光：海山の自然の活用やイベントなどにより、にぎわい、楽しさが創出されている」に対する現在の評価と今後の重要度。それぞれ5段階評価（1～5点）の平均。

現 状

- 本市は、海山の豊かな自然、かみね公園や奥日立きららの里といった観光施設を有するほか、さくらや産業資産等の観光資源を有し、平成22年度の入込観光客数は県内8位となっており、宿泊客も増加しています。
- 「日立さくらまつり」等の毎年恒例のイベントを開催しているほか、「全日本サーフィン選手権大会」を誘致するなど、全国的なイベントも開催してきました。
- 観光客の受け入れ体制を強化するため、外国語版を含むガイドマップの作成やホスピタリティ（おもてなし）意識啓発など、新たな取り組みも進めています。

課 題

- 将来に向けて戦略的な観光振興を図っていくためには、地域資源を活用しながら独自の「ひたちらしさ」を創出していく必要があります。
- 既存観光施設等の一層の充実とPRを図り、相互に連携した取り組みを行うとともに、体験型・交流型の要素を取り入れた*ニューツーリズムなど、新たな観光分野の振興を進める必要があります。
- 観光客の増加と満足度の向上を図るため、総合的な観光情報の提供やイベントの充実に向けた施策を進めるとともに、来訪者へのサービス向上に向けた市民や事業者との連携強化が必要です。

関連計画等

・「日立市観光振興計画」（H20～H24）

【用語の説明】

- *ニューツーリズム：従来型の観光旅行に対し、テーマ性が強く地域の人々や自然との触れ合いなど体験的要素を取り入れた新しい形態の旅行。エコツーリズム（自然環境の保全）、グリーンツーリズム（農山漁村との交流）、ヘルスツーリズム（健康回復や維持、増進）など。
- *観光プロモーション：地域の魅力や特徴をいかした情報及びメッセージ等を発信し、イメージや好感度を向上させて関心を集め、観光客の誘致を促進させるため行う宣伝、広告、イベント、キャンペーンなどの活動の総称。
- *着地型観光：観光の目的地に客が集合・解散するツアータイプ。都市部の旅行会社が企画するツアー（発地型）ではなく、観光地（着地）側が地域の資源（自然、歴史、産業、街並み、文化等）を活用して旅行商品をプロデュースするもの。

施策の方向と主な取り組み

3-6-1 既存の観光資源の活用と相互連携による戦略的な観光振興

めざす姿

★本市の魅力や情報の積極的な発信、観光振興へ向けた取り組みにより、本市に訪れる観光客が増加しています。

目標指標

年間入込客数（観光客動態調査）

H23：2,281千人

H28：2,500千人

市ホームページ（観光関連）アクセス件数

H23：671千件

H28：800千件

主な取り組み

①戦略的な観光振興への取り組み【観光物産課】

・既存の観光振興計画の検証を行うとともに、新たな計画を専門家等を交えて策定し、効果的な施策を推進していきます。

②*観光プロモーションの充実【観光物産課】

・本市の魅力や観光情報を発信するプロモーションを推進します。

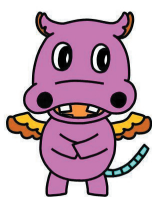
③かみね動物園、奥日立きららの里等の魅力向上【かみね公園管理事務所】【観光物産課】

・市の観光拠点として、内容の充実や魅力向上のための整備等を進めます。

◎主な事業：観光振興計画策定事業、コンベンション事業、観光案内拠点づくり事業、観光宣伝事業
かみね公園・動物園魅力向上事業、奥日立きららの里魅力づくり事業



かみね動物園



かみね動物園シンボルキャラクター
かみねっちょ



③ - 6 - 2 新たな観光分野への取り組み

めざす姿	目標指標
<p>★多様化する観光ニーズに対応し、地域資源を活用した体験型・交流型の*ニューツーリズムへの取り組みが進められ、日立ちらしさを楽しむことができます。</p>	<p>*着地型観光ツアー企画件数 H23：2回/年 ▶ H28：4回/年 ニューツーリズム観光箇所数 H23：4箇所 ▶ H28：6箇所</p>
主な取り組み	
<p>①戦略的な観光振興への取り組み（再掲）【観光物産課】</p>	
<p>②観光資源の積極的活用と連携【観光物産課】 ・海、山、さくら、ウミウ、産業資産等を積極的に活用し、他の観光資源とも連携を進めます。</p>	
<p>◎主な事業：観光振興計画策定事業、さくらのまちづくり事業、ウミウのまちづくり事業</p>	

③ - 6 - 3 観光振興に向けた市民、事業者との連携強化

めざす姿	目標指標
<p>★市民、事業者、行政が一体となり、本市の良さや魅力を発信するなど観光振興に取り組んでいます。</p>	<p>観光市民ボランティア数 H23：22人 ▶ H28：30人</p>
主な取り組み	
<p>①市民、事業者、周辺市町村を含めた行政の連携強化【観光物産課】 ・観光振興に向け、観光協会を中心に一層の連携強化を図ります。</p>	
<p>②おもてなしの充実【観光物産課】 ・本市の魅力を伝える観光市民ボランティア等の育成を支援します。</p>	
<p>◎主な事業：観光団体助成事業、観光資源活用事業</p>	



奥日立きららの里（芝生広場）



奥日立きららの里（ワクワクスライダー）